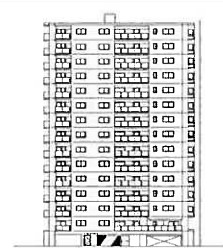




1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	クリオ札幌大通	階数	地上15F
建設地	札幌市中央区南3条西5丁目21番、22番、37番	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	257人
気候区分	2地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年2月 予定	評価の実施日	2017年7月21日
敷地面積	402 m ²	作成者	株式会社アイ・イー・シー
建築面積	291 m ²	確認日	2017年7月21日
延床面積	3,844 m ²	確認者	株式会社アイ・イー・シー



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.2

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

Q2 サービス性能 5

Q1 室内環境

Q3 室外環境 (敷地内)

LR1 エネルギー

LR3 敷地外環境

LR2 資源・マテリアル

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.2

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項	
<p>総合</p> <p>商業地域に建つ共同住宅として、建築物の環境品質を高めるのと同時に周辺に対する環境負荷を抑えるよう計画した。</p>	<p>A 省エネルギー</p> <p>①バルコニー庇とカーテンを組み合わせグレアを抑制している。</p> <p>②一次エネルギー消費率=48%</p>
<p>B 省資源等</p> <p>①給水管: PEP(B)、給湯管: SUS (C)、污水管 (B)、Eは不使用。</p> <p>②LGS+ボードなど解体時に分別しやすい工法としている。</p> <p>③ライフサイクルCO₂排出率=80%</p>	<p>C 緑化</p> <p>特になし。</p>
	<p>D 雪処理</p> <p>①ロードヒーティング設備を採用している。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE Sapporo2014v1.2
クリオ札幌大通

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2
■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート	実施設計段階	重点評価項目				重点評価項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		重点評価項目						評価点	重み係数	評価点	重み係数	
		A	B	C	D							
Q 建築物の環境品質												
Q1 室内環境												
1 音環境												
1.1 騒音												
1.2 遮音												
1.3 吸音												
2 温熱環境												
2.1 室温制御												
2.2 湿度制御												
2.3 空調方式												
3 光・視環境												
3.1 昼光利用												
3.2 グレア対策												
3.3 照度												
3.4 照明制御												
4 空気質環境												
4.1 発生源対策												
4.2 換気												
4.3 運用管理												
Q2 サービス性能												
1 機能性												
1.1 機能性・使いやすさ												
1.2 心理性・快適性												
1.3 維持管理												
2 耐用性・信頼性												
2.1 耐震・免震												
2.2 部品・部材の耐用年数												
2.4 信頼性												
3 対応性・更新性												
3.1 空間のゆとり												
3.2 荷重のゆとり												
3.3 設備の更新性												

CASBEE Sapporo2014v1.2
クリオ札幌大通

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2
■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

スコアシート	実施設計段階	重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		A	B	C	D		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
配慮項目											
Q3 室外環境(敷地内)							-	0.30	-	-	2.2
1 生物環境の保全と創出				C			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮				C			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮							2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上					D		2.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			B	C			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性							-	-	-	-	3.4
LR1 エネルギー							-	0.40	-	-	4.0
1 建物外皮の熱負荷抑制		A					3.0	0.20	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用		A					3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化						BEI 非住宅 - 住宅(専有部) 0.48	5.0	0.50	-	-	5.0
集合住宅以外の評価(3a.3b)		A					-	-	-	-	
集合住宅の評価(3c)		A				一次エネルギー消費率=48%	5.0	1.00	-	-	
4 効率的運用							3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価							-	-	-	-	
4.1 モニタリング		A					3.0	-	-	-	
4.2 運用管理体制		A					3.0	-	-	-	
集合住宅の評価							3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング		A					3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制		A					3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル							-	0.30	-	-	2.7
1 水資源保護							3.0	0.20	-	-	3.0
1.1 節水							3.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用							3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無							3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無							3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減							2.6	0.60	-	-	2.6
2.1 材料使用量の削減			B				2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			B				3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			B			-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			B			-	1.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			B				2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			B			LGS+ボードなど解体時に分別しやすい工法としている。	4.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避							3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用							3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避							3.0	0.70	-	-	
1 消火剤			B				-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)			B				3.0	0.50	-	-	
3 冷媒			B				3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境							-	0.30	-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮			B			ライフサイクルCO2排出率=80%	3.8	0.33	-	-	3.8
2 地域環境への配慮							2.8	0.33	-	-	2.8
2.1 大気汚染防止			B				3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			B	C	D		3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制							2.5	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減			B				2.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制							3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制							2.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			B		D		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮							3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止							3.0	0.40	-	-	
1 騒音							3.0	1.00	-	-	
2 振動							-	-	-	-	
3 悪臭							-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制							3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制							3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制							3.0	-	-	-	
3 日照阻害の抑制							3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制							3.7	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策						光害ガイドラインのうち一部を満たし、屋外広告は設置しない。	4.0	0.70	-	-	
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策							3.0	0.30	-	-	

Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency

CASBEE札幌



重点項目 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2014(ver.1.3)

1 建物概要		BEE	1.2	BEEランク	B ⁺
建物名称	クリオ札幌大通	総合評価	★★★★☆		
建物用途	集合住宅				
延床面積	3,844.12 m ²				

2 重点項目への取り組み

地球 温暖化 対策	最重点項目 省エネルギー	★★★★★
	省資源等	★★★☆☆
	緑化	★★★★☆
	雪処理	★★★☆☆

レーダーチャート

この建物は特に
省エネルギー性能
が優れています

3. 設計上の配慮事項とCASBEEスコア

A 省エネルギー		合計	21点	／24点
Q1 温熱環境	スコア 2.0	LR1 建物外皮の熱負荷抑制	スコア	2.0
Q1 光・視環境	スコア 4.0	LR1 自然エネルギー利用	スコア	1.0
		LR1 設備システムの高効率化	スコア	10.0
		LR1 効率的運用	スコア	2.0
B 省資源等		合計	15点	／23点
Q2 耐用性・信頼性	スコア 1.0	LR2 非再生性資源の使用量削減	スコア	5.0
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 1.0	LR2 汚染物質含有材料の使用回避	スコア	1.0
		LR3 地球温暖化への配慮	スコア	4.0
		LR3 地域環境への配慮	スコア	3.0
C 緑化		合計	8点	／16点
Q3 生物環境の保全と創出	スコア 1.0	LR3 地域環境への配慮	スコア	2.0
Q3 まちなみ・景観への配慮	スコア 4.0			
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 1.0			
D 雪処理		合計	1点	／3点
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 0.0	LR3 地域環境への配慮	スコア	1.0

4 設計上の配慮事項

A 省エネルギー		
①バルコニー庇とカーテンを組み合わせることでグレアを抑制している。 ②一次エネルギー消費率=48%		
B 省資源等	C 緑化	D 雪処理
①給水管: PEP(B)、給湯管: SUS (C)、污水管 (B)、Eは不使用。 ②LGS+ボードなど解体時に分別しやすい工法としている。 ③ライフサイクルCO ₂ 排出率=80%	特になし。	①ロードヒーティング設備を採用している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される